



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社 Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL <http://kk-misumi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,966	△14.6	122	378.7	189	89.5	△49	—
27年3月期第1四半期	15,177	1.0	25	△59.0	100	△15.5	57	△10.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 174百万円(△9.4%) 27年3月期第1四半期 192百万円(47.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△8.13	—
27年3月期第1四半期	9.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	35,393	15,254	42.6
27年3月期	35,153	15,177	42.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 15,062百万円 27年3月期 14,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,566	△4.1	225	24.5	308	△1.0	202	9.5	33.35
通期	64,567	5.6	1,229	15.4	1,396	△0.7	825	15.0	135.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	6,100,503株	27年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	33,169株	27年3月期	30,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	6,069,141株	27年3月期1Q	6,069,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られるものの、当社グループの営業基盤である南九州においては、昨年の消費税率引き上げや円安に伴う物価上昇等により、消費者の節約志向、低価格志向が根強く残る中で、業種・業態を超えた競争は一層激しさを増しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、燃料油やLPガス等の販売における地域シェアの拡大に努めるとともに、全ての事業において、営業力の強化及びサービスの向上を図るための人材育成に加え、お客様ニーズを捉えた改装や売場の変更を積極的に実施するなど、収益力の強化に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は129億66百万円（前年同四半期比14.6%減）、経常利益は1億89百万円（前年同四半期比89.5%増）となりましたが、九州石油業厚生年金基金の解散に伴う損失見込額を、厚生年金基金解散損失引当金繰入額（特別損失）として2億67百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は49百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、原油の価格変動に左右されない油外商品の拡販に努めるとともに、「ENEOSカード」等の新規会員獲得によるユーザーの囲い込みに加え、安値競争への対応や販促活動等による燃料油の増販に努めました。また、4月に他社より宮崎市内にあるSS1店舗の事業を譲受け、セルフ福島SSとしてオープンいたしました。

ガス部門においては、LPガス海上基地の稼働率アップや配送コストの削減に努めるとともに、訪問活動による新規顧客の開拓やガス関連商品の提案等によるお客様との関係強化に取り組みました。

以上の結果、売上高は原油価格やLPガス輸入価格の下落に伴い、エネルギー関連商品の販売価格が低下したこと等により99億67百万円（前年同四半期比18.2%減）となりましたが、コスト削減等によりセグメント利益（営業利益）は1億40百万円（前年同四半期比157.3%増）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、映像レンタルの売上改善を図るため、Tカード会員の獲得強化に努めるとともに、ブックスミスミオブシア店内の雑貨コーナーを6月にリニューアルし、「J i b u n - S t y l e」をオリジナルブランドとして導入いたしました。

自動車部門においては、展示会の実施や販促活動等による集客を図り、新車販売の増販に努めるとともに、タイヤ販売における新規取引先の開拓と売れ筋商品の販売に注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門においては、家庭用太陽光発電システムの販売強化に加え、スマートハウスの構造見学会や完成見学会を定期的実施し集客を図るなど、新規受注獲得に努めました。

しかしながら、売上高は17億39百万円（前年同四半期比3.0%減）、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、6月に店舗イメージの向上等を目的として、KFC2店舗を改装するとともに、キャンペーンの連続投入による収益改善を図りました。また、全業態において、店舗オペレーションの強化を図り、心のこもったサービスを実践することで、お客様満足度の向上に努めました。

ミネラルウォーター部門においては、営業活動の見直しによる、営業効率の向上に努めるとともに、ショッピングサイト内の店舗リニューアルや新規オンラインモールでの販売を本格稼働させるなど、ネット販売における宅配件数のシェア拡大を図りました。

以上の結果、売上高は12億60百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益（営業利益）は82百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億39百万円増加し、353億93百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や投資有価証券（固定資産の投資その他の資産「その他」）が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億63百万円増加し、201億39百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少した一方、借入金の増加や九州石油業厚生年金基金の解散に伴う損失見込額を、厚生年金基金解散損失引当金として負債に計上したこと等により増加しております。

純資産は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、152億54百万円となりました。これは主に、期末配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が減少した一方、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成27年5月11日発表から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び
「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,240,959	6,230,856
受取手形及び売掛金	4,610,840	3,813,942
商品及び製品	2,733,724	2,660,048
仕掛品	47,441	47,655
原材料及び貯蔵品	43,195	44,105
その他	678,468	517,952
貸倒引当金	△82,863	△79,662
流動資産合計	13,271,766	13,234,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,730,498	3,671,431
土地	12,227,632	12,227,632
その他(純額)	980,945	997,146
有形固定資産合計	16,939,076	16,896,209
無形固定資産	234,892	213,705
投資その他の資産		
その他	4,979,203	5,319,695
貸倒引当金	△271,221	△271,221
投資その他の資産合計	4,707,982	5,048,474
固定資産合計	21,881,950	22,158,389
資産合計	35,153,717	35,393,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,912,193	1,290,284
短期借入金	5,810,000	5,525,000
1年内返済予定の長期借入金	2,164,260	2,469,333
未払法人税等	362,737	76,794
賞与引当金	306,525	454,894
その他	1,613,118	1,370,236
流動負債合計	12,168,834	11,186,543
固定負債		
長期借入金	5,744,175	6,571,900
役員退職慰労引当金	770,500	770,300
厚生年金基金解散損失引当金	—	267,514
その他	1,292,354	1,342,982
固定負債合計	7,807,029	8,952,696
負債合計	19,975,863	20,139,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	10,851,148	10,710,746
自己株式	△43,403	△47,668
株主資本合計	14,144,986	14,000,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906,435	1,133,729
退職給付に係る調整累計額	△72,596	△71,287
その他の包括利益累計額合計	833,839	1,062,442
非支配株主持分	199,028	191,286
純資産合計	15,177,853	15,254,048
負債純資産合計	35,153,717	35,393,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	15,177,676	12,966,589
売上原価	12,541,734	10,205,834
売上総利益	2,635,941	2,760,754
販売費及び一般管理費	2,610,347	2,638,227
営業利益	25,594	122,527
営業外収益		
受取利息	1,010	1,248
受取配当金	19,205	19,220
受取賃貸料	36,397	35,771
その他	71,763	60,891
営業外収益合計	128,376	117,132
営業外費用		
支払利息	32,656	28,892
賃貸費用	15,868	14,513
その他	5,194	6,277
営業外費用合計	53,719	49,684
経常利益	100,251	189,975
特別利益		
固定資産売却益	3,622	721
投資有価証券売却益	—	2,017
収用補償金	—	1,384
特別利益合計	3,622	4,123
特別損失		
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	267,514
特別損失合計	—	267,514
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	103,873	△73,415
法人税、住民税及び事業税	60,251	68,147
法人税等調整額	△16,472	△87,354
法人税等合計	43,779	△19,206
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,094	△54,208
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,266	△4,854
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	57,828	△49,354

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,094	△54,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,718	227,294
退職給付に係る調整額	△3,939	1,667
その他の包括利益合計	132,778	228,961
四半期包括利益	192,873	174,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,607	179,249
非支配株主に係る四半期包括利益	2,266	△4,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,190,548	1,793,337	1,193,789	15,177,676	—	15,177,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,678	16,454	7,427	31,560	△31,560	—
計	12,198,227	1,809,792	1,201,217	15,209,236	△31,560	15,177,676
セグメント利益	54,531	66,055	74,759	195,345	△169,750	25,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△169,750千円には、セグメント間取引消去2,146千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,897千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,967,174	1,739,351	1,260,063	12,966,589	—	12,966,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,305	22,503	5,592	34,401	△34,401	—
計	9,973,480	1,761,855	1,265,655	13,000,991	△34,401	12,966,589
セグメント利益	140,307	62,756	82,290	285,354	△162,827	122,527

(注) 1. セグメント利益の調整額△162,827千円には、セグメント間取引消去1,870千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△164,697千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。